

SCIEX OS 3.0 リリースノ ート



はじめに

ご利用のシステムの OS として、SCIEX をお選びいただきありがとうございます。以下のシステムをサポートする SCIEX OS 3.0 ソフトウェアをお届けします。

- ZenoTOF 7600 システム
- X500R QTOF および X500B QTOF システム
- SCIEX 4500、5500、5500+、6500、6500+、および 7500 システム
- Echo[®] MS システム。これには、SCIEX Triple Quad 6500+システムと Echo[®] MS モジュールが含まれています。

SCIEX OS 3.0 では、トリプル四重極、QTRAP、および Analyst や Analyst TF ソフトウェアを操作する TripleTOFAnalyst ソフトウェアのバージョン 1.6.2 以上、または Analyst TF ソフトウェアバージョン 1.7.1 以上をサポートしています。

本ドキュメントでは、ソフトウェアの機能について説明しています。ソフトウェアをご利用になる際の参照用として、このリリースノートを常にお手元に保管してください。

バージョン 3.0 の新機能

本項では、SCIEX OS 3.0 の機能強化と修正について説明します。過去にリリースされた SCIEX OS の機能強化と修正については、該当するバージョンのソフトウェアに付属するリリースノートを参照してください。

バージョン 3.0 の新機能

- **SWATH 取得での Zeno モードのサポート:** ZenoTOF 7600 システムでは、SWATH 取得方法で Zeno モードがサポートされるようになりました。
- **国際化:** 英語に加えて、SCIEX OS はフランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、簡体字中国語で利用できるようになりました。表示言語は、ソフトウェアでユーザーが設定できます。
- **QTRAP システムのサポート:** このソフトウェアは、QTRAP 4500、5500、6500、および 6500+ システム、および SCIEX Triple Quad ライセンスがアクティブ化された QTRAP 5500+ システムでのトリプル四重極スキャンをサポートします。

注: リニア イオントラップ (LIT) スキャンはサポートされていません。

- **stMRM アルゴリズム:** 新しい Scout Triggered MRM (stMRM) アルゴリズムは、SCIEX Triple Quad および QTRAP システムで使用できます。これは、ユーザー定義のトリガーしきい値に基づいて、マーカートランジションを使用して依存トランジションのデータを取得する Scheduled MRM (sMRM) アルゴリズムを改良したものです。

- **CAC ソフトウェア ユーザー、プロジェクト、ワークグループ、およびワークステーションは、Central Administrator Console (CAC)ソフトウェアで中央管理できます。**この機能をサポートするために、ユーザ管理データベースに新しい権限が追加されました。
- **モジュラー型インストール:** インストール時に、取得コンピュータ、処理コンピュータ、または管理コンピュータをインストールするかどうかを選択できます。コンピュータの種類ごとに、インストールするモジュールを選択できます。
- **リモート展開:** ソフトウェアは、Microsoft SCCM などのツールを使用してリモートでインストールできます。サイレント インストール機能も利用できます。
- **ExionLC 2.0 システム用の個別のバルブ制御および追加のバルブ構成のサポート:** 個別のバルブ制御および ExionLC 2.0 システム用の次の 2 つのバルブの任意の組み合わせ (同じバルブを 2 つ、またはそれぞれ 1 つ) の使用に対するサポートが追加されました。
 - 2 位置 6 ポートバルブ駆動
 - 8 位置 9 ポートバルブ駆動
- **取得中の Windows サービスの無効化:** 新しいオプションにより、Windows Defender、Windows Update、ウイルス対策ソフトウェアなどの Windows サービスをデータ取得中に無効にして、パフォーマンスを最適化できます。新しい権限は、この機能へのユーザー アクセスを制御します: **General: Stop Windows services**。

バージョン 3.0 の拡張機能

取得

- **サンプル情報:** Agilent、Shimadzu、および ExionLC AC/AD システムに関する情報は、SCIEX OS によって作成された wiff2 および wiff ファイルに保存されます。この情報は、SCIEX OS と Analyst ソフトウェアの両方で表示してレポートに含めることができます。
- **重複しないスケジュールされた実験のサポート:** SCIEX OS は、SCIEX Triple Quad システムのスケジュールされた実験が重複しないように、Analyst ソフトウェアで処理される wiff ファイルを作成できます。(BLT-2546)

MS Method ワークスペース

- **複数のメソッドを開く:** 複数のメソッドを開く機能が拡張され、MS メソッドだけでなく LC メソッドも含まれるようになりました。ユーザーは、LC Method ワークスペースで複数の LC メソッドを今すぐ開くことができます。さらに、MS メソッドと LC メソッドの両方で新しいフローティングビューを使用できるようになりました。これにより、ユーザーはメソッドウィンドウのサイズ変更、最大化、最小化を行ったり、SCIEX OS ウィンドウの外に移動したり、別のモニターに移動したりできます。
- **Mass Table の並べ替え:** MS メソッドの Mass Table の列は、昇順または降順で並べ替えることができます。ユーザー定義の並べ替え設定は、メソッドの編集中表示補助として機能しますが、メソッドには保存されません。データ ファイル内の化合物の順序は影響を受けません。

MS Tune ワークスペース

- **キャリブレーション質量の編集:** チューニング中に、キャリブレーション質量を追加、変更、または削除できます。

- **初期キャリブレーション:** 間違った同位体が選択された問題を解決するために、初期キャリブレーションステップが追加されました。(TUN-7245)

Analytics ワークスペース

- **Sort Sample Files:** サンプル ファイルは、処理メソッドの作成または編集中、または Results Table の作成または編集中に並べ替えることができます。(BLT-1892)
- **数値形式:** Results Table では、数値は小数点記号、有効数字、または科学表記形式で表示できます。これらが有効数字の書式で表示される場合、有効数字を指定することができます。(BLT-1551)
- **統計のエクスポート:** Statistics パネルの内容をエクスポートできます。(BLT-1982)
- **XIC およびキャリブレーショングラフのコピー:** XIC データのみを含む Peak Review パネルのグラフを、説明データとともにクリップボードにコピーできます。Calibration パネルのグラフは、回帰情報とともにクリップボードにコピーできます。(BLT-2417)
- **ピークの塗りつぶしスタイル:** Peak Review パネルでは、ピークに点線、単色、または塗りつぶしスタイルなしを設定できます。(BLT-2357)
- **PDF 形式:** Analytics ワークスペースで作成されたレポートは、保護されたまたは保護されていない PDF 形式で出力できます。(BLT-1883)
- **カスタム テンプレートの場所:** カスタム テンプレートを標準テンプレートとは別の場所に保存できるようになりました。レポートの作成時に、使用するテンプレートの場所を参照できます。(BLT-2313)
- **クロマトグラムタイトル:** Peak Review パネルのクロマトグラムタイトルに含まれる要素はカスタマイズできます。(BLT-1894)

Event Log ワークスペース

- イベント ログは、20,000 レコードに達すると自動的にアーカイブされます。

LC システム

- **ExionLC 2.0 および Shimadzu システムドライバー:** ソフトウェアは、ExionLC 2.0 および Shimadzu システムの更新されたドライバーをサポートします。

SCIEX OS から Analyst へのソフトウェア メソッド コンバーター

- SCIEX OS で取得したスケジュールされた実験データは、Analyst ソフトウェアで複数期間メソッドに変換できます。

注: IDA、Scheduled MRM (sMRM)アルゴリズム、Scout Triggered MRM (stMRM)アルゴリズム、スケジュールされたイオン化法はサポートされていません。

バージョン 3.0 の解決済みの問題

- ユーザーには、ルート ディレクトリを別のドメインのディレクトリに変更する権限がありませんでした。(BLT-3486)
- ClearCore2 サービスの開始と停止がイベント ログに記録されませんでした。(BLT-3192)

取得

- DAD データが wiff ファイルに書き込まれませんでした。その結果、DAD スペクトルは Analyst ソフトウェアで見ることができませんでした。(BLT-3868)
- ネットワークフォルダにデータを取得できませんでした。(BLT-2949)
- セキュア ネットワーク アカウント (SNA) を使用して、ネットワーク フォルダにデータが取得されませんでした。(BLT-3526)
- Waters LC を使用した ZenoTOF 7600 システムで取得に失敗しました。(BLT-3329)
- 蓄積時間が短く、イオン化時間 (停止時間から開始時間を差し引いた時間) が短い場合、ZenoTOF 7600 システムでの取得に失敗しました。(BLT-3329)

MS Method ワークスペース

- (SCIEX 7500 システム) MRM サーベイスキャンを使用した IDA 実験が、sMRM トリガーが適用された Scheduled MRM (sMRM) アルゴリズムを使用した別の実験とループする場合、IDA 基準の **Intensity threshold exceeds** フィールドで指定されたトリガーしきい値は、MRM サーベイスキャンの候補質量に適用されませんでした。(MSCS-2283)
- ユーザーが複数のガイド付き MS3 注入メソッドを作成した場合、メソッドには同じ名前が付けられていました。(ONYX-16740)
- 高質量モードの SCIEX7500 システム: EPI および MS3 実験の 2 番目のプリカーサーは 1000 Da を超えることはできませんでした。(BLT-3541)
- MS メソッドのプリントアウトのフッターに余分なコンテンツがありました (BLT-3328)
- MS メソッドのプリントアウトで、**Modified** の日付と時刻が正しくありませんでした。(BLT-3303)

Batch ワークスペース

- ユーザーがテキスト ファイルをインポートすると、サンプル注入プロパティが **Injection Volume** 列ではなく Components タブに表示されました。(BLT-3575)
- Batch ワークスペースの **Save** ボタンは、**Save** 権限を持たないユーザーが使用できました。(BLT-3381)

Analytics ワークスペース

- Calibration Curve パネルで **Log-log plot** が選択されていない場合、キャリブレーションカーブ レポートのキャリブレーションカーブは両対数プロット形式でした。(MQ-9424)
- 保存された Results Tables を開くことができませんでした。(BLT-3600/BLT-3530)
- Results Table にサンプルを追加できませんでした。(BLT-3554)
- **Reportable** カラムをクリアすると、SCIEX OS は応答を停止しました。(BLT-3586)
- Analyst ソフトウェアがチェックサム オプションを有効にして同じ wiff ファイルに取得しているときに、ユーザーが SCIEX OS-MQ を使用して wiff 内のデータを処理すると、エラーが発生しました。(BLT-3578)
- カスタム フィルターは、数値列を正しくフィルター処理しませんでした。(BLT-3534)

- プロジェクトの安全なエクスポート設定オプションは役に立ちませんでした。これは削除されました。(BLT-3524)
- データの処理中に SCIEX OS が応答を停止しました。(BLT-3470)
- ライブラリ検索では、データベースに複数の適切な候補が含まれているにもかかわらず、候補検索中に見つかった結果は 1 つだけでした。(BLT-3407/BLT-3345)
- Peak Review パネルに表示されるクロマトグラムに信号がありませんでした。(BLT-3369)
- AutoPeak および MQ4 アルゴリズムでは、自動ピーク統合が失敗しました。(BLT-2643)
- **Expected Ion Ratio** に関する情報がドキュメントに追加されました。(BLT-1501)

レポーターの問題

- キャリブレーションカーブレポートの Y 軸ラベルは、たとえ **Area Ratio** が定量に使用されていても **Height Ratio** を示しました。(BLT-3842)
- **Ion Ratio Confidence Traffic Light** タグが **For Each Internal Standard** タグ内にある場合、トラフィック ライトがレポートに表示されませんでした。(BLT-3520)
- **MQ_XICProfile** タグは、定量とターゲットを絞った選別ワークフローまたはターゲットを絞らないワークフローで取得したデータに対してのみ機能しました。(BLT-3409)
- Results Table のエクスポートの形式は、Analyst ソフトウェアで使用される形式とは異なります。エクスポートを容易にするために、3 つの新しいレポートテンプレートが追加されました。
 - SCIEX OS LIMS Template A
 - SCIEX OS LIMS Template Export as for Analyst with regr and ion ratio
 - SCIEX OS LIMS Template Displaying Analytes Horizontally
- レポートテンプレートのブランドが正しくありませんでした。(BLT-3543)

Explorer ワークスペース

- ユーザーが多数の MRM^{HR} アルゴリズムトランジション(最大 2500 トランジション)を取得した場合、リアルタイムのデータ収集中に短い遅延が観察される場合があります。(ONYX-16742)
- **Print Window** コマンドは、サンプル メタデータを出力しませんでした。コンピュータ ID、印刷日時、ユーザー ID などのメタデータがヘッダーに表示されるようになりました。(ONYX-15584)

MS Tune ワークスペース

- ユーザーは、Explorer ワークスペースを開いて、MS Tune ワークスペースで **Advanced Troubleshooting** コマンドを使用して取得したデータを表示することはできませんでした。(ONYX-16557)
- ZenoTOF 7600 システムのネガティブ TOF チューニングの手順で、間違ったチューニングソリューションが参照されていました。(BLT-3698)
- MS Tune ワークスペースの機器の仕様は、サービスで使用される仕様と一致しませんでした。(BLT-3482)

監査証跡

- Results Table をエクスポートすると、Reason イベントの E-signature と Data exported が正しく記録されませんでした。(BLT-3597)
- Audit Trail をフィルタリングすると、2 ページ目以降が表示されませんでした。(BLT-3381)

バージョン 3.0 のその他の変更点

- サンプルファイル: サンプル ファイルは、容量を節約するために DVD から削除されており、お客様の Web サイト (sciex.com/software-support/software-downloads) のソフトウェア ダウンロード ページ、SCIEX OS リソースから入手できます。

使用上の注意と既知の問題

使用上の注意

- ソフトウェアは、次の Microsoft SQL Server コンポーネントを自動的にインストールします。
 - Microsoft SQL Server 2012 Express (標準インストール): SCIEX OS でデータを管理するために使用します。SQL Server 2012 (64 ビット) といくつかの追加アプリケーションおよびパッケージが含まれます。
 - Microsoft SQL Server Compact: LibraryView ソフトウェアパッケージを管理し、LibraryView ソフトウェアとの間でデータをインポートまたはエクスポートするために使用します。
 - Microsoft OLE DB Driver for SQL Server: Analyst ソフトウェアなどの他の SCIEX アプリケーションからスペクトル データをインポートするために使用されます。SCIEX OS を使用して他のアプリケーションからスペクトルをインポートしない場合は、インストール後にこのソフトウェアを削除できます。

注: Microsoft SQL Server 2012 のサポートは 2022 年末に終了するため、SCIEX は SCIEX OS の将来のリリースでこれに取って代わる予定です。

(BLT-3922)

- (規制対象のお客様) ソフトウェアの検証後にユーザー管理設定をインポートする場合は、内部の変更管理プロセスに従って構成の変更を文書化することをお勧めします。
- ExionLC 2.0 システム:
 - 溶媒レベルの監視が使用されている場合は、現在のボリュームが正しいこと、および適切な警告レベルとシャットダウン レベルが各バッチ取得の前に Device Control または Device Details ダイアログで設定されていることを確認してください。移動相の補充のためにサンプル取得中に現在の容量を更新する必要がある場合は、Device Details ダイアログにあるポンプの溶媒レベルパネルを使用します。
 - サンプルトレイにサンプルをロードするときは、ソフトウェアのプレートレイアウトに従ってください。次のドキュメントを参照: *ExionLC 2.0 システムハードウェアユーザーガイド*。
 - Diode Array Detector (DAD または DAD-HS) は、Multiwavelength detector (MWD) と同時にデータ取得に使用することはできません。DAD と MWD の両方で LC システムを構成しないでください。

-
- ExionLC 2.0 DAD (DAD または DAD-HS)、および MWD では、10Hz 以下のサンプリングレートのみがサポートされます。サンプリングレートが 10Hz 以上の LC メソッドは保存されません。
 - DAD メソッドを作成する際には、3D データモードを選択していない場合でも、2D データチャンネルの波長および波長プログラムの波長が、3D データモードで定義された波長範囲内であることを確認してください。
 - SCIEX OS は、データ取得中に Windows Defender や Windows Update などの Windows サービスやウイルス対策ソフトウェアを停止してパフォーマンスを最適化するように設定できます。このオプションを使用しないと、パフォーマンスまたはデータの問題が発生する可能性があります。データを取得しない時に更新やウイルスのスキヤニングを実施するように、スケジュールを設定してください。
 - パフォーマンスの問題やデータの破損を防止するため、サンプル取得中にはデフラグやディスククリーンアップなど、コンピュータのメンテナンス手順を実行しないでください。
 - Echo[®] MS システム:
 - MS Method が作成されるとき、**Spray Voltage** デフォルトは 4500 V です。

注: オープンポートフェイス (OPI) 電極アセンブリの寿命を最大化するために、5000 V 以下の値を使用することをお勧めします。

- ピークが狭いため、トランジションの数を最小化することをお勧めします。使用するトランジションの数を 4~6 にすることをお勧めします。
- 複数のバッチでデータや結果のファイルに同じ名前を使用しないでください。それぞれの新しいバッチに使用するデータと結果のファイルは、必ず新しいものにしてください。
- **Injection VolumeBatch** ワークスペースの列に入力された値は、AE メソッドで指定された排出量に置き換わりません。
- ネットワーク取得中に ClearCore2 が中断されると、中断時に取得中のサンプルの一部のサンプルデータは、データファイルに書き込まれません。ローカル取得中にサービスが中断された場合、サンプルデータの一部がデータファイルに書き込まれますが、破損としてマークされます。ClearCore2 サービスが中断された場合、自動トリガー処理と決定ルール処理も失敗します。
- 次の方法により、ユーザーはネットワークリソースを取得しながら、Explorer ワークスペースでデータをリアルタイムで表示できます。
 - SCIEX OS ウィンドウ下部の Data Acquisition パネルを開きます。
 - Queue ワークスペースで、取得中のサンプルをダブルクリックして開きます。

(DS-1873)

注: サンプルが Explorer ワークスペースで開いたままの場合は、サンプルがネットワークリソースに移動した後に、「File not found」というメッセージが表示されます。

- カスタム列を含むデータは、SCIEX OS バージョン 2.1.6 以前で取得したデータファイルに追加することはできません。
- MultiQuant ソフトウェアファイル (qmethod、qsession、および cset) は、SCIEX OS の Analytics ワークスペースで開けることも使用することもできません。ただし、テキストファイルに

エクスポートされた MultiQuant ソフトウェアメソッドは、Analytics ワークスペースにインポートできます。

- ターゲットを絞らないワークフローの場合、Results Tables は 150,000 行に制限する必要があります。Results Tables がこのサイズを超えると、SCIEX OS のパフォーマンスが大幅に低下します。
- AutoPeak 統合アルゴリズムを使用する場合、ユーザーは特定の Results Table 内のコンポーネントのコンテキストで計算されたすべてのパラメータを考慮する必要があります。ソフトウェアは各コンポーネントの AutoPeak モデルを作成し、このモデルはコンポーネントのすべてのサンプルに使用されます。AutoPeak Asymmetry の計算パラメータは、コンポーネントの AutoPeak モデルのスキューに対する特定のスキューの比率を示します。(BLT-2030)
- データを Watson LIMS に転送する場合、ユーザーは転送が成功するまで待ってから SCIEX OS の **Confirm** をクリックする必要があります。転送が完了する前に **Confirm** をクリックすると、転送のステータスが **Failed** と表示されます。
- 計測器設定を Analyst ソフトウェアから SCIEX OS 3.0 に転送するときは、SCIEX OS 3.0 インストールパッケージに含まれている計測器設定コンバーターを使用してください。
- SCIEX OS メソッドを Analyst ソフトウェア メソッドに変換するときは、SCIEX OS Analyst2.1.5SCIEX OS3.0 Software Method Converter を使用してください。

カスタマーセキュリティガイダンス: バックアップ

顧客データのバックアップは、顧客の責任です。SCIEX のサービスおよびサポート担当者は、顧客データのバックアップに関するアドバイスや推奨事項を提供する場合がありますが、お客様のポリシー、ニーズ、規制要件に従ってデータを確実にバックアップするかどうかは、お客様次第です。顧客データのバックアップの頻度と範囲は、組織の要件および生成されるデータの重要度に応じて決定する必要があります。

バックアップはデータ管理全体の重要なコンポーネントであり、悪意のある攻撃、ハードウェア障害、またはソフトウェア障害が発生した場合の復元に不可欠であるため、お客様はバックアップが機能することを確認する必要があります。データ取得中は、コンピュータのバックアップを取得しないでください。また、取得中のファイルがバックアップソフトウェアによって無視されるようにしてください。セキュリティアップデートのインストールやコンピュータの修理を行う前に、コンピュータの完全なバックアップを作成することを強くお勧めします。これにより、セキュリティパッチがアプリケーションの機能に影響を与えるというまれなケースでも、ロールバックが容易になります。

一般的な問題

問題	注意事項
コンテンツは、翻訳されたユーザー インターフェイスで英語で表示されます。	翻訳されたコンテンツの更新は、将来のリリースで提供される予定です。

問題	注意事項
<p>MS Tune ワークスペースまたはガイド付き MRM を使用する MS Method ワークスペースでチューニング中に作成されたレポート(xps)ファイルを開くことはできません。Windows は、このタイプのファイルを開くことができないと報告しています。</p>	<p>この問題は、Microsoft XPS ビューアがコンピュータにインストールされていない場合に発生します。ビューアは SCIEX OS インストールパッケージに含まれています。インストールするには、次の手順に従います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 管理者としてコマンドプロンプトを実行します: <ol style="list-style-type: none"> a. Windows タスクバーの Type here to search フィールドに cmd と入力します。 b. Command Prompt を右クリックし、Run as administrator をクリックします。 2. Administrator: Command Prompt ウィンドウで、次のコマンドを入力し、Enter を押します。 <pre> dism /online /norestart /add-package / packagepath:"C:\Program Files\SCIEX\SCIEX OS\Microsoft- Windows-Xps-Xps-Viewer-Opt- Package~31bf3856ad364e35~amd64~~. cab" </pre> <hr/> <p>注: コマンド全体を 1 行で入力します。</p> <hr/> <p>XPS ビューアがインストールされると、進捗バーが表示されます。</p> 3. インストールが完了したら、Command Prompt を閉じます。
<p>SCIEX 7500 システム: 長いファイルパス (129 文字以上) のデータは、Analyst 1.7.2 または Analyst 1.6.3 ソフトウェアと HotFix 5 を使用して処理することはできません。さらに、このようなデータファイルのファイル情報は、Analyst 1.7.2 または HotFix 5 を使用する Analyst 1.6.3 ソフトウェアでは完全に表示できません。(AN-2250)</p>	<p>この問題を回避するには、SCIEX OS の Analytics ワークスペースを使用してデータを処理するか、ファイルパスを短くしてください。</p>

問題	注意事項
<p>ヘルプのコンテンツパネルが空白になっています。(BLT-2497)</p>	<p>ヘルプ ファイルがブロックされています。この問題を解決するには、次の手順に従います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. フォルダ C:\Program Files\SCIEX\SCIEX OS\Documentation 中にある Help ファイルを参照し、右クリックして、Properties をクリックします。 2. Properties ダイアログで、Unblock を選択します。 3. OK をクリックします。 <hr/> <p>注: Properties ダイアログにこのチェックボックスがない場合は、ヘルプファイルがブロックされません。</p>

インストールの問題

問題	注意事項
<p>Shimadzu および ExionLC の AC/AD システムドライバーのみがインストールされている場合、SCIEX OS は起動しません。(ONYX-20839)</p>	<p>この問題を回避するには、すべての LC ドライバー (Agilent、Shimadzu/ExionLC AC/ExionLC AD、および ExionLC 2.0 システム用) をインストールします。</p> <p>この問題が発生した場合は、ファイルを削除します: C:\ProgramData\SCIEX\Clearcore2.Acquisition\HardwareProfile.hwp。このファイルを削除すると、ソフトウェアは正常に開きます。</p>
<p>インストール プログラムの [変更] オプションを使用してインストールを変更すると、SCIEX OS が開きません。(SXOSLNT-708)</p>	<p>この問題を回避するには、[Modify] オプションを使用する前に、すべてのデバイスを非アクティブにします。</p> <p>デバイスがアクティブなときに SCIEX OS がインストールされた場合は、次のファイルを削除します: C:\ProgramData\SCIEX\Clearcore2.Acquisition\HardwareProfile.hwp。このファイルを削除すると、ソフトウェアは正常に開きます。</p>
<p>インストールされたモジュールがライセンスと一致しない場合、問題が発生します。(SXOSLNT-1009)</p>	<p>インストールされているモジュールがライセンスと互換性があることを確認します。インストールされていない場合は、ソフトウェアを削除し、正しいモジュールを選択して再インストールします。</p>

問題	注意事項
<p>デバイスが構成されている場合、SCIEX OS-Q と SCIEX OS-MQ は開きません。(SXOSLNT-1037)</p>	<p>この問題は、SCIEX OS が取得モジュールとともにインストールされ、デバイスが設定されている場合に、SCIEX OS が削除され、処理モジュールだけとともにインストールされた場合に発生します。</p> <p>この問題を解決するには、次の手順に従います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. SCIEX OS-Q または SCIEX OS-MQ を削除します。 2. SCIEX OS をインストールし、構成済みデバイスを削除します。 3. SCIEX OS を削除します。 4. SCIEX OS-Q または SCIEX OS-MQ をインストールします。

機器に関する問題

問題	注意事項
<p>シリンジポンプの Direct device control ボタンが有効でないため、質量分析装置がスタンバイ状態の場合、ユーザーはシリンジポンプを始動できません。(BLT-2698)</p>	<p>データ取得またはチューニング手順を開始するには、Direct device control ボタンを有効にします。</p>
<p>次のエラーメッセージが表示されます: 「wiff ファイルの LC 検出器データの書き込みに失敗しました。」(BLT-2960)</p>	<p>エラーメッセージは、次の条件下で表示される可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • LC メソッドが検出器なしで構成されている場合、メッセージは無視できます。 • LC メソッドが検出器で構成されている場合、このメッセージは、サンプルの LC データの取得に問題があることを示しています。
<p>CDS などの機器に障害が発生しても、右ステータスパネルの Standby ボタンがアクティブにならないため、ユーザーがエラーをクリアできなくなる。(MSCS-1314)</p>	<p>この問題が発生した場合は、Direct Control で Start をクリックして、CDS の状態を Fault から Running に変更し、CDS の故障状態をオフにします。</p>
<p>LC システムの Device Details ダイアログに情報がない。(ON-2069)</p>	<p>この問題は、Windows のリージョン設定が English (United States) 以外の形式に設定されている場合に発生します。このエラーを回避するには、ドキュメント『<i>Software Installation Guide</i>』の指示に従って Windows を構成します。</p>

問題	注意事項
<p>リモートデスクトップアプリケーションを使用して取得コンピュータにアクセスすると、次の問題が発生する可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> LC Method ワークスペースでは、一部のパラメータが表示されません。 LC システムの Detailed Status ダイアログで、一部の LC パラメータが表示されない。 <p>(ONYX-7153/ONYX-8185)</p>	<p>この問題は、ユーザーが取得コンピュータからログオフせずにリモートデスクトップセッションを切断して再接続した場合に発生します。この問題を回避するには、次のいずれかの方法を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 取得コンピュータからログオフしてから、再度ログインします。 リモートデスクトップアプリケーションでフルスクリーンモードを使用します。 取得コンピュータの分解能を修正します。 取得コンピュータで詳細ステータスを直接表示します。
<p>取得コンピュータがシャットダウンされても、デバイスはシャットダウンされません。(ONYX-7677)</p>	<p>取得コンピュータをシャットダウンする前に、デバイスをシャットダウンします。</p>
<p>接点閉鎖を使用している場合、MS 法とバルブ法が同時に終了すると、ダイバータバルブは運転終了時にタイムテーブルで定義された位置に変更されません。(ONYX-7952)</p>	<p>メソッドのタイムテーブルの最後にバルブ位置を設定しないでください。</p>
<p>SCIEX OS は、チューニング中に外部シリンジポンプを自動的に開始および停止しない。(ONYX-8459)</p>	<p>チューニング手順を開始する前に、シリンジポンプを手動で停止および開始します。</p>

Agilent LC システムの問題

問題	注意事項
<p>オートサンプラーではハイスループット設定はサポートされていません。(ACQ-529)</p>	<p>ハイスループット設定は現在サポートされていません。</p>
<p>ポンプ圧力が LC 法で設定された最大値を超えても、ポンプの状態は故障に変わりません。(ACQ-1712)</p>	<p>圧力が設定された最大値に達するまでフローは停止し、再び最大値に達するまで再開されます。ポンプの状態は変化しません。</p> <p>LC メソッドの流量を調整します。</p>
<p>LC グラジエントグリッドの流量をコピーすると、小数点記号としてのコンマが無視されます。(ACQ-2191)</p>	<p>これは Agilent LC の問題です。この問題を回避するには、手動で流量を入力し、コンマを小数点記号として使用してください。</p>
<p>機器が有効化の最中に Fault 状態になっても、その故障状態が正しく反映されません。(ACQ-2195)</p>	<p>この問題を回避するには、機器の障害をクリアし、Agilent 機器を一度無効化してから再度有効化します。</p>

問題	注意事項
Agilent G7121B 1260 Infinity II FLD スペクトルモジュールからのリアルタイム DAD データは、spectrum モードが Apex または All in Peak に設定されている場合は記録されない。(ONYX-4998)	Apex および All in Peak スペクトルモードはサポートされていません。別のモードを使用してください。
信号 A 励起がゼロオーダーに設定され、光電子増倍管(PMT)ゲインが 6 より大きい値に設定されている場合、Agilent G7121B 1260 Infinity II FLD スペクトルモジュールが使用されているとき、システムは読み込み中または平衡状態のままです。(ONYX-4999)	信号 A 励起がゼロオーダーに設定されている場合、PMT ゲインを 6 以下に設定します。

ExionLC 2.0 システムの問題

問題	注意事項
Plate Layout ダイアログでは、サンプルは「1 回使用」、「複数回使用」、または「未使用」としてマークされません。(ONYX-8757)	該当なし
Plate Layout ウィンドウが開いているときに Batch ワークスペースで Rack Type を変更すると、Plate Layout ウィンドウで Rack Type が更新されません。(ONYX-8760)	Batch ワークスペースで Plate Layout ダイアログが開いているときにユーザーがバッチグリッドで Rack Type を変更すると、Plate Layout のバイアルレイアウトの視覚的表現は更新されますが、 Rack Type フィールドは更新されません。ただし、 Rack Type および Vial Position を含むバッチ内のすべての情報は正しいです。この問題を回避するには、バッチグリッドで Rack Type を変更する前に、Plate Layout ダイアログで Rack Type を変更するか、Plate Layout ダイアログを閉じてください。
Device Details ダイアログの複数のインスタンスを同時に開くことができます。(ONYX-9049)	デバイス構成を変更したときに Device Details ダイアログが開いていると、新しい構成で Device Details ダイアログの別のインスタンスを開いた後でも、古い構成の Device Details ダイアログが開いたままになります。この問題は、使用方法に影響を及ぼしません。ただし、混乱を避けるために、デバイス構成を変更する前に、開いている Device Details ダイアログをすべて閉じてください。
溶剤レベルパネルでのパラメータの変更は保存されません。(ONYX-9093)	溶媒レベルパネルでパラメータを変更した後、ステータスが更新されるまで 5 秒待ってから、追加の変更を行います。

ExionLC AC、ExionLC AD、および Shimadzu LC システムの問題

問題	注意事項
カラムが設定温度に達する前に注入を開始する。	カラムオープンの WAIT TIME が手動で 0 に設定されている場合は、システムを平衡化し、Column Oven が設定温度に達してから 10~15 分待ってからサンプルを提出するようにしてください。または、 WAIT TIME を 1 から 10 までの任意の整数に等しい値に設定してから、LC メソッドで Wait for temperature equilibration before run を選択します。このオプションを選択すると、カラムオープンが設定温度に達した後、ソフトウェアは WAIT TIME で指定された時間待機してから注入を開始します。
PDA 検出器を備えたハードウェアプロファイルが有効化されると、LC メソッドの検出器のデフォルトは、新しく作成された LC メソッドと、同じ LC で以前に作成されたが PDA 検出器が有効化されていないオープン LC メソッドとで異なります。 (ACQ-2176)	問題の発生を回避するには、PDA 機器に正しいパラメータが使用されていることを確認してください。
すすぎサイクルの開始時または終了時にすすぎ溶媒が None に設定されている場合、すすぎは行われません。(BLT-1212)	すすぎサイクルの最初と最後の溶媒の値が None 以外であることを確認します。
スタンバイ状態になった後、またはシステムが停止した後、最後の平衡化手順または LC メソッドで設定された温度に戻ります。(BLT-2300)	該当なし
Shimadzu LC-40 システム: 自動的に入力される LC メソッドのフィールドの内容は、レポートに出力されません。 (BLT-2850)	自動的に入力された内容を、値を入力して置き換えます。
Nexera Mikros システム: LC ポンプは、最大圧力限界に達しても故障状態にはならない。(ONYX-7794)	該当なし
Nexera Mikros システム: LC ポンプは、デバイス構成で LC-20AB ポンプとして誤って識別される。(ONYX-8030)	LC システムのパフォーマンスは影響を受けませんが、ポンプはデータファイル、ログ、および監査証跡で誤って識別されます。
Shimadzu LC-40 システム: Plate Layout ダイアログで、ユーザーが複数のプレートでラックタイプを構成している場合、プレートの構成を終了して次のプレートを選択すると、構成されたプレートの名前が <Unassigned> に変わる。 (ONYX-8441)	バッチを保存して再度開き、Plate Layout ダイアログにプレート名を正しく表示します。

問題	注意事項
Shimadzu Lc-20 システム: カラムが設定温度に達する前に平衡化が停止します。(ONYX-14932)	該当なし
Nexera Mikros システム: ユーザーが LC ポンプの流量を有効な範囲外の値に設定すると、ドライバーは流量を最小値または最大値のいずれか近い方に設定します。SCIEX OS には通知が表示されません。(ONYX-18416)	該当なし
Nexera Mikros システム: SCIEX OS は、LC ポンプの実際の流量を示しません。(ONYX-18418)	ポンプの前面パネルで流量を確認します。
Shimadzu システム: ユーザーが指定した注入量が無効な場合、サンプルは失敗しますが、SCIEX OS はエラー メッセージを表示しません。(ONYX-19857)	サンプルが失敗した場合は、注入量が有効であることを確認してください。

Waters LC システムの問題

問題	注意事項
Explorer ワークスペースに表示される Sample Information に LC デバイスのプロパティとメソッド情報がありません。(ONYX-11604)	該当なし
LC メソッドのパラメータは、Waters Support Layer 1.1 が使用されている場合は保存されません。(ONYX-20524)	Waters Support Layer 1.2 にアップグレードします。
他の LC メソッドが開いている場合は、LC メソッドを作成できません。(ONYX-21110)	別の LC メソッドが開いているときに LC メソッドが作成された場合、新しい LC メソッドのウィンドウは空です。 他のすべての LC メソッドを閉じます。新しい LC メソッドのウィンドウが更新され、メソッドパラメータが表示されます。

取得における問題

問題	注意事項
Standby を選択すると、Harvard シリンジポンプが故障状態になります。(ACQ-2193)	この問題を回避し、エラーをクリアするには、Direct Control 機能を使用してシリンジを起動します。

問題	注意事項
<p>X500 QTOF システムと ZenoTOF 7600 システム: MRM^{HR} メソッドの場合、Mass Table の列が印刷されない。(ACQ-2611)</p>	<p>以下を実行すると、UI に表示された列の一部がメソッドのプリントアウトに表示されません。</p> <ol style="list-style-type: none"> MRM HR メソッドを作成する。 スキャンスケジュールを適用する。 拡張パラメータを選択して表示する。 メソッドを保存してから印刷する。 <p>この問題を回避するには、Letter サイズより大きい用紙サイズを選択します。</p>
<p>(X500 QTOF システム) 手動チューニングでは、キャリブレーションサンプルなし (つまり、CDS または LC 自動キャリブレーションなし) でバッチを送信すると、手動の MS メソッド取得によるイオンが最初のサンプルとバッチ内にある後続のすべてのサンプルのサンプル間 DBC 参照リストとして使用される。手動取得に使用した MS Method とバッチで送信した MS Method の間で質量範囲、極性などに不一致がある場合は、バッチ内にあるすべてのサンプルの質量精度ドリフトにより、サンプル間キャリブレーションが失敗する。(ACQ-2834)</p>	<p>次のいずれの方法でも問題を回避できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> MS Method ワークスペースで手動取得を完了してから、キャリブレーションサンプルなしでバッチを送信すると、サンプル間キャリブレーションは予測どおり機能します。バッチ内の最初のサンプルは、後続のサンプルをキャリブレーションする参照リストを生成するために使用されます。 手動取得中にキャリブレーションサンプルを使用してバッチを送信すると、サンプル間キャリブレーションは質量精度ドリフトが観察されずに予測どおり機能します。
<p>取得メソッドおよび処理メソッドからのインポート中に一貫性のない動作が発生し、そのために信頼性の低い評価結果が生成される。(BLT-284)</p>	<p>取得メソッドからインポートされる情報は、小数第 2 位までの質量精度で示されます。処理メソッドの質量精度の計算に使用される式では、小数第 4 位までの結果が生成されます。そのため、この 2 つのメソッドからは一貫性のない結果が提示されることがあります。</p>
<p>Dynamic Collision Energy ダイアログで切片を負の値から正の値に変更し、MS メソッドを保存すると、勾配が変更されます。(BLT-3953)</p>	<p>該当なし</p>
<p>DAD パネルのリアルタイム更新が、メソッドで選択された応答時間よりも遅いことがある。(DS-853)</p>	<p>この問題を回避するには、DAD 取得の頻度を下げるか、取得の完了後にデータを点検します。</p>
<p>ZenoTOF 7600 システム: EAD フラグメンテーションモードでは、データは取得されません。(MSCS-2527)</p>	<p>EAD フラグメンテーションを使用する場合は、蓄積時間が反応時間の 3 倍以上である必要があります。使用しない場合は、データが取得できません。この問題を解決するには、蓄積時間を増やします。</p>

問題	注意事項
X500 QTOF および ZenoTOF 7600 システム: 質量不一致 IDA 基準で、負質量不一致値が正しくない記号で表示される。(MSCS-2537)	アルゴリズムは正しいプレカーサーを選択するため、取得されたデータは正しいです。
ZenoTOF 7600 システム: SCIEX OS バージョン 2.1.6 以前で取得された wiff データファイルは、それ以降のバージョンのソフトウェアで開いたときに、グラフタイトルに誤ったフラグメンテーションモードを表示する場合があります。(MSCS-2945)	この問題は、MRM ^{HR} アルゴリズムメソッドまたは MRM ^{HR} 混合フラグメンテーションモード (EAD/CID) のアルゴリズムメソッドを使用する wiff データファイルで発生します。
IDA 取得時に潜在的延長時間がランダムサイクルに追加される。(ONYX-1764)	問題を回避するには、IDA を実行する前に、Google 更新サービス (gupdate と gupdatem) (システムにある場合) および、Windows バックアップが無効になっていることを確認します。
バッチを PDF に印刷すると、列見出しまたは本文セルのいずれかの数値がドキュメントから欠落しています。(ONYX-2236)	XPS 形式で印刷します。
Excel スプレッドシートなどのファイルから行をコピーしてから、Batch ワークスペースのグリッドに貼り付けると、一部のコンポーネントがグリッドに追加されない。(ONYX-6068)	不足しているコンポーネントを手動でバッチに追加します。
Batch ワークスペースの既存の行に行を貼り付けると、コンテンツが正しく貼り付けられない。(ONYX-6083)	この問題を回避するには、既存の行の上に貼り付けるのではなく、空の行を挿入してその中に新しい内容を貼り付けます。次に、既存の行を削除します。
Acquisition Methods フォルダに破損した MS Method が含まれている場合、Batch ワークスペースの MS Method 列で選択できる MS Method がない。(ONYX-6795)	MS Method のリストが空の場合は、破損したメソッドを見つけて削除します。
オプション Stop after the current tasks are completed でキューを停止すると、取得は完了しますが、処理は開始されない。(ONYX-6802)	該当なし
Queue ワークスペースでは、決定ルール処理の結果として再注入されたサンプルは、元のサンプルに関連付けられた処理メソッドの名前ではなく、 Processing Method 列に *Embedded Method* と表示される。(ONYX-6896)	最初のサンプルが処理されると、結果ファイルが作成され、 Processing Method 列で指定された処理メソッドが新しい結果ファイルに埋め込まれます。したがって、再注入されたサンプルに指定された埋め込み方法は、最初のサンプルに指定された処理メソッドと同じです。

問題	注意事項
<p>IDA データの取得中に取得コンピュータが Windows リモートデスクトップで制御されている場合、取得パフォーマンスが低下し、データポイントが失われる可能性がある。(ONYX-7491)</p>	<p>IDA データの取得中は、リモートデスクトップを使用して取得コンピュータを制御しないでください。</p>
<p>SCIEX OS で取得した wiff データを Analyst ソフトウェアで開くと、Analyst ソフトウェアの MRM detection window が SCIEX OS の Retention time tolerance と一致しません。(ONYX-7602)</p>	<p>Retention time tolerance 値は、MRM window の計算に使用されます。この値は、検出ウィンドウのデフォルト値を示す MRM detection window と同じではありません。</p>
<p>現在開いている PDF ファイルにメソッドを印刷しようとする、エラーが発生します。(ONYX-7813/ONYX-8204)</p>	<p>メソッドを印刷する前に PDF ファイルを閉じるか、別のファイル名で保存してください。</p>
<p>SCIEXQTRAP ライセンスがアクティブ化された 7500 システム: AF2 のデフォルト値は、負極性の MS³ 実験では設定できません。(ONYX-8041)</p>	<p>負極性で MS³ 実験の AF2 にデフォルト値を設定した場合、デフォルト値は保存されません。</p> <p>AF2 のデフォルト値を負極性で保存するには、最初に、負極性に必要な AF2 値で正極性を構成します。その後、負極性に変更し、デフォルト値を保存します。</p>
<p>Scheduled MRM (sMRM)アルゴリズムを使用する MS メソッドは、無効なメソッド期間で保存できる。(ONXY-8443)</p>	<p>スキャン時間が長すぎると、DurationsMRM が無効になる場合があります。メソッドを保存しようすると、エラーメッセージが表示され、Duration フィールドにエラーアイコンが含まれます。有効なメソッドの期間を指定し、期間を不正なメソッドの期間に戻してからメソッドを保存すると、メソッドは正常に保存されます。</p> <p>メソッドを保存する前に、正しいメソッド期間を決定してください。</p>
<p>メッセージ wiff ファイルは書き込まれません および スキャン [ランプパラメータ] は実装されていません ランプ中にイベントログに書き込まれます。(ONYX-8767)</p>	<p>wiff ファイルは、ランプ中に作成されません。wiff2 ファイルが正しく作成されます。</p>
<p>実験からトランジションを削除すると、MS メソッドの実験間に空白が入ります。(ONYX-9901)</p>	<p>空白を削除するには、メソッドを保存してから再度開きます。</p>

問題	注意事項
ZenoTOF 7600 システム: PeakView ソフトウェアのサンプルの PeakView に表示されるサイクル数とサイクル時間は、MRM ^{HR} アルゴリズムで取得された wiff ファイルに対して正しくありません。(ONYX-10623)	該当なし
ZenoTOF 7600 システム: wiff ファイル内のサンプルの TOF 質量キャリブレーションパラメータが wiff2 ファイル内のパラメータと一致しません。(ONYX-11356)	キャリブレーションパラメータは、Analyst TF ソフトウェアと SCIEX OS によって異なる方法で記録されます。wiff ファイルは、Analyst TF ソフトウェアモデルに従います。
X500 QTOF システムと ZenoTOF 7600 システム: 複雑なスキャン、IDA、SWATH、MRM ^{HR} でループ実験を作成すると、実験のスケジュールを指定していないにもかかわらず、ループ実験がスケジュールされた実験として表示されます。(ONYX-11359)	<ol style="list-style-type: none"> 1. メソッドを保存して閉じます。 2. メソッドを開きます。 3. [Advanced]タブで Experiment scheduling をクリアします。 <p>ループ実験は予定外として表示されます。</p>
X500 QTOF システムと ZenoTOF 7600 システム: ユーザーは整数以外の値を For の Exclude former candidate ions フィールドに入力できます。(ONYX-11383)	メソッドを保存して再度開くと、整数以外の値は「0」に置き換えられますが、整数以外の値を考慮した上で正しくデータを取得しています。
Guided MRM > MRM Infusion では、ユーザーが Start をクリックすると、Set Initial Conditions ページのソースパラメータとガスパラメータがデフォルト値に戻ります。(ONYX-15218)	パラメータを再設定します。
Q1-IDA ループ実験では、設定時間を 15 ミリ秒に設定することはできません。(ONYX-15511)	該当なし
(ZenoTOF 7600 システム) MS Method のワークスペースでは、MRM ^{HR} 実験のために最大 2500 のトランジションを定義することができますが、その結果、取得に時間がかかることがあります。(ONYX-16282)	MRM ^{HR} 実験では、最大 548 の同時トランジションを定義できます。
ユーザーが手動で追加したコンポーネントを含むバッチを開くかインポートすると、標準または QC ではないサンプルの手動で追加されたコンポーネントが失われる可能性があります。(ONYX-16474、ONYX-16466、ONYX-16467)	手動でコンポーネントを追加したバッチを開いたり、インポートしたりした後は、すべてのコンポーネントが存在していることを慎重に確認してください。

問題	注意事項
<p>ZenoTOF 7600 システム: Zeno threshold パラメータは、それが適用されない実験およびフラグメントタイプに対して有効です。(ONYX-16556)</p>	<p>Zeno threshold パラメータは、EAD と CID の両方のフラグメンテーションを伴う IDA 実験、および CID のフラグメンテーションのみを伴う MRMHR と MSMS の実験に使用されます。ただし、Zeno threshold フィールドは、EAD と CID の両方のフラグメンテーションについて、すべての実験タイプで有効になります。このパラメータは、EAD フラグメンテーションを使用した MRM HR および MSMS 実験のサンプル情報にも示されています。</p> <p>MRM^{HR} 実験の場合、Zeno しきい値フィールド名が正しくありません。Zeno threshold (CID)である必要があります。</p>
<p>高質量モードのメソッドを低質量モードに変換すると、メソッドのサイクルタイムが長くなります。(ONYX-18158)</p>	<p>滞留時間を短縮して補正します。</p>
<p>Mass Table が並べ替えられている場合、Mass Table でトランジションが選択されても、sMRM Plots ダイアログは動的に更新されません。(ONYX-19154)</p>	<p>sMRM Plots ダイアログの動的更新を有効にするには、並べ替えをオフにします。</p>
<p>ガイド付き最適化で開始質量と停止質量を変更しても、スペクトルは更新されません。(ONYX-19423)</p>	<p>Stop をクリックし、次に Start をクリックしてスペクトルを更新します。</p>
<p>SCIEX OS 1.6.10 で作成された sMRM アルゴリズム メソッドは SCIEX OS 3.0 で開くことができません。(ONYX-20552)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. Turbo V イオン源など、MS メソッドで使用されるイオン源とは異なるイオン源を使用してデバイスを構成します。 2. MS メソッドを開き、再度保存します。 3. 元のイオン源でデバイスを構成します。 4. MS メソッドワークスペースを開きます。
<p>同じ Group ID に属するコンポーネントのインポートされた保持時間が sMRM または Scout Triggered MRM (stMRM) アルゴリズムの実験で異なる場合、検証エラーが表示されます。ユーザーが保存期間を手動で更新して同じにすると、検証エラーが続きます。(ONYX-20987)</p>	<p>インポートされた保持時間の小数精度は、Mass Table で手動で入力した保持時間とは異なります。保存期間を入力する代わりに、保存期間をコピーして貼り付けるか、下方向にコピー機能を使用します。</p>
<p>ロードアヘッド機能を使用してバッチが送信された場合、キュー構成で選択された欠落サンプルの状態に関係なく、欠落しているバイアルが検出されるとキューが停止します。(ONYX-21006)</p>	<p>ロードアヘッドの処理中、サンプルイベントが欠落している間、キューは常に停止します。Start をクリックしてキューを開始します。</p>

問題	注意事項
実行中に MS Method を保存すると、メソッドの実行が終了するか停止した後に、MS メソッドワークスペースのボタンが反応しなくなります。(ONYX-21052)	1 メソッドを閉じてから再度開きます。
ユーザー インターフェイス言語を英語以外の言語に変更すると、Batch ワークスペースグリッドの列の幅が最小化されます。(SXOSLNT-900)	列のサイズを手動で調整します。新しい列のサイズは、次に言語が英語以外の言語に変更されるまで維持されます。

Echo[®] MS システム問題

問題	注意事項
Plate Layout ダイアログでエントリを削除しても、行は Batch ワークスペースから削除されず、一部のフィールドが残ります。	行を削除するには、行を選択して右クリックし、 Delete Rows をクリックします。
連続するバッチが同じデータファイルにデータを保存すると、ピークスプリットが失敗し、自動処理が失敗します。(ONYX-6904)	ピークスプリットは、データが取得された後に実行されます。前の取得中にファイルに書き込まれたピークをシステムが分割している間に、後続のバッチがデータをファイルに取得している場合、リソースの競合が発生します。この問題を回避するには、各バッチのデータを個別のデータファイルに書き込みます。
以下の制限が適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> Echo[®] MS システムの使用時に決定ルールが正しく機能しません。 Echo[®] MS システムを使用する構成では LC システムを使用できません。 Echo[®] MS システムが設定されている場合、MS Tune ワークスペースを使用できません。 (ONYX-10636)	<ul style="list-style-type: none"> Echo[®] MS システムが SCIEX OS で設定されている場合は、決定ルールを使用しないでください。 Echo[®] MS システムがアクティブな時は、LC システムをアクティブにしないでください。 Echo[®] MS システムがアクティブな時は、MS Tune ワークスペースでチューニングを行わないでください。 <p>SCIEX 6500+システムのチューニングは、IonDrive Turbo V イオン源および関連付けられたプローブを使用して実行されます。</p>

問題	注意事項
<p>ユーザーが[プレートレイアウト]ダイアログを使用して Batch ワークスペースに Well Positions を入力すると、Well Positions が入力されない場合があります。この問題は、次の条件下で発生する可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ユーザーが SCIEX OS を開いた後で Batch ワークスペースを初めて開く時。 • ユーザーが空のバッチで Well Positions にデータを入力しようとした時。 <p>(ONYX-12525)</p>	<p>問題が発生した場合は、次のいずれかの操作を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ソフトウェアを閉じてから再度開きます。 • 保存したバッチを開き、Plate Layout ダイアログを使用して、そのバッチの Well Positions を更新します。
<p>ユーザーが Remove All Plate Layout ダイアログでをクリックすると、ソフトウェアの応答が非常に遅くなります。 (ONYX-12726)</p>	<p>パフォーマンスを改善するには、Batch ワークスペースグリッド内のウェルを削除します。グリッド内のウェルを選択し、右クリックして Cut を選択します。</p>
<p>(Echo[®] MS システム)取得中に移動相の低警告がトリガーされると、取得は失敗します。(OPP-288)</p>	<p>測定を開始する前に、移動相ボトルに、計画した取得を完了するのに十分な移動相が含まれていることを確認してください。</p>
<p>(Echo[®] MS システム)ユーザーが Plate Layout ダイアログを使用してサンプルウェルを Batch ワークスペース内のグリッドに追加しようとする、選択したウェルを追加できません。(OPP-365)</p>	<p>ターゲット内の別の列を選択し、もう一度試してください。</p>
<p>(Echo[®] MS システム) Est. Start Time Queue ワークスペース内のは、AE サンプルについては更新されません。 (OPP-421)</p>	<p>ユーザーインターフェースのみの問題です。システムの機能は影響を受けません</p>

Analytics ワークスペースの問題

問題	注意事項
プロジェクトのルートディレクトリにある Results Tables は開かない。	このエラーは、プロジェクトのルートディレクトリが Analyst ソフトウェアのルートディレクトリとして使用されている場合に発生します。Analyst ソフトウェアは、ルートディレクトリの Default/Project Information フォルダに次のファイルを 1 つ以上作成します。 <ul style="list-style-type: none"> • ProjectSettings.atd • Default Audit Map.cam • Project.atd これらのファイルが Project Information フォルダに存在する場合は、削除します。
別のコンピュータで実行されている Analyst ソフトウェアがネットワークを介してそのファイルへのデータを取得しているときに、ネットワーク上の場所で wiff ファイルを処理すると、SCIEX OS が応答しなくなります。(BLT-2873)	SCIEX OS はこのワークフローをサポートしていません。
非常に大きなスペクトルが LibraryView ソフトウェア データベースに追加されると、重複する化合物名が削除される場合があります。(BLT-3291)	5,000 ポイントを超えるスペクトルを追加しないでください。
csv レポートは、グラフィックやロゴをサポートしていない。(MQ-1361)	csv レポートは、図が含まれない場合のみサポートされます。
Positive Hit template を使用して 2,500 行を超える Results Table から保護された PDF レポートを作成するために PDFFactory を使用すると、ソフトウェアが応答しないように見える。(MQ-1896)	レポートの作成には、ある程度時間がかかります。PDFFactory の進行状況ウィンドウは常にバックグラウンドで表示され、PDF の作成が進行中であることを示します。PDFFactory の進行状況ウィンドウを表示させるために、SCIEX OS を含むすべてのウィンドウを最小化できます。
Method Editor で IS 名をコンポーネントテーブルに貼り付けることができない。(MQ-2193)	問題を回避するには、IS 名を手動で選択するか、IS 列を個別に貼り付けます。
UV、DAD、ADC データ上で AutoPeak 積分アルゴリズムを使用した場合、処理前にモデルが構築するのに長い時間がかかる。(MQ-4421)	ピーク形状が良くない UV/DAD/ADC データに対しては、AutoPeak 積分アルゴリズムを使用しないでください。
Results Table の Used 列は Blanks でフィルタリングできません。(MQ-4827)	IS Concentration 列をフィルタリングしてテキストのないすべての行を表示するか、 Component Name 列をフィルタリングして内部標準の名前を非表示にします。

問題	注意事項
フラグメント情報を含む SWATH 取得データを含む MultiQuant ソフトウェアで作成された処理メソッドは、SCIEX OS にインポートできません。(MQ-6147)	フラグメント情報を手動で追加します。
Mass Reconstruction ワークフローでは、Results Table に報告された信号対雑音 (S/N) 値が、再構成されたピークに対して正しく計算されない。(MQ-7073)	<p>S/N を計算するには、Explorer ワークスペースで平均 m/z スペクトルを開き、手動で再構成を行い、ターゲットピークの S/N を計算します。</p> <hr/> <p>注: この回避策には Biotool Kit のライセンスが必要です。</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> 1. Peak Review パネルで平均スペクトルを選択します。 2. Open data exploration () をクリックします。 3. Bio Tool Kit > Reconstruct Protein をクリックし、分解能値を入力し、再構成パラメータを指定して、再構成を実行します。 4. S/N を手動で計算します。『ソフトウェアユーザーガイド』のドキュメントの『グラフ選択情報の表示』を参照してください。
計算列の名前を関数名と同じにすることはできません。(MQ-8087)	関数名と一致しない名前を付けてください。
Statistics パネルに表示される Percent CV は、 GETSTAT 関数で計算されたパーセント CV とは異なります。(MQ-8211)	GETSTAT 関数は Actual Concentration 値を使用して複製を識別しますが、Statistics パネルはユーザー指定の Number format が適用された後に Actual Concentration 値を使用します。たとえば、 Number format が 0.00 に設定されている場合、5.001 の濃度は Statistics パネルで 5.00 として扱われます。
ソフトウェアは、 Outlier Reasons 列または Outlier Reasons 列に基づく計算列に基づくフラグ設定ルールをサポートしていません。(MQ-8295/MQ-8381)	Outlier Reasons 列を使用するフラグ設定ルールを作成しないでください。
カスタムの式に基づいて列にメトリックプロットを適用した場合、式の入力を変更してもすぐには Metric Plot に反映されません。(MQ-8524)	メトリックプロットを更新するには、Results Table で別のコンポーネントを選択した後、元のコンポーネントを再度選択します。
Acquisition Date & Time 列が式で正しく処理されません。(MQ-8662)	式で Acquisition Date & Time 列を使用しないでください。

問題	注意事項
数式エディタは、式の中でアンパサンド (&) とバー () が正しく使われていなくても、それを識別しません。(MQ-8837)	ブール値の AND を表すには、"&&"を使用します。ブール値の OR を表すには、" "を使用します。
自動処理されたサンプルは、以前のバージョンの SCIEX OS で作成された Results Table に追加されません。(MQ-9627)	この問題は、サンプルがソフトウェア アップグレードと同じ日に自動処理される場合に発生します。アップグレードの 1 日後まで待ってから、以前のバージョンで作成された結果ファイルにデータを追加してください。
データを LIMS からカスタム列のある Results Table にインポートすることはできません。また、データをカスタム列のある Results Table から LIMS にエクスポートすることもできません。(ONYX-15730)	該当なし
Scout Triggered MRM (stMRM) アルゴリズムの RT モード実験と stMRM アルゴリズムのグループ モード実験の両方で取得したデータを含む Results Tables から生成されたレポートに、 Super Group ID 列の情報がありません。(ONYX-19767)	別々の結果テーブルで異なる stMRM アルゴリズムモードで取得したデータを処理します。
ChemSpider データベースにはプロキシサーバーからアクセスできません。(PV-632)	該当なし

Explorer ワークスペースの問題

問題	注意事項
Explorer ワークスペースで大量のデータまたは複数のデータファイルを処理すると、ユーザーフェイスが応答を停止し、サンプルキューが次のサンプルに移動するまでに遅延が生じることがある。(BLT-719)	この問題が発生した場合は、Explorer ワークスペースで処理が完了するのを待つか、データ取得中に大量のデータを処理しないようにします。
「要求されたアクションを完了できませんでした。データが完全であり、すべてのフィールドに適切な値が含まれていることを確認してください」というエラーが Formula Finder に表示される。(BLT-1423)	このエラーは、選択されたイオンの構造が Formula Finder で予測されたもので、Formula Finder Settings ダイアログの Elemental Composition タブの正イオンのリストに含まれていない場合に発生します。たとえば、 m/z 1004 のイオンの場合、Formula Finder は $(M + NH_4)^+$ に一致します。このイオンが検索する陽イオンのリストに含まれていない場合、一致するものが見つからないとエラーが発生します。

問題	注意事項
<p>取得中にユーザーがデータを検索すると、以下の問題が発生する可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> スケジュールされたスキャンの XIC および BPC が予定時間より前に生成された場合は、リアルタイムデータが取得後のデータと一致しない。(DS-903) Explorer ワークスペースで Move to next または Move to previous を使用して MS 実験を切り替え、リアルタイムで生成された抽出イオンクロマトグラム(XIC)またはベースピーククロマトグラム(BPC)を表示した場合、XIC / BPC パネルには 1 つのポイントのみが表示される。 	<p>この問題を回避するには、以下の手順に従います。</p> <ul style="list-style-type: none"> File > Show XIC をクリックして、必要な実験の XIC を生成します 取得後の XIC/BPC を生成します。 XIC パネルを閉じて再度開きます。
<p>Explorer ワークスペースで、Detector Optimization データが正しく表示されない。(DS-1044)</p>	<p>Z 軸(検出器の電圧)のラベルが不正確になっています。問題を回避するには、Detector Optimization Report レポートまたは パネルを使用して、検出器最適化プロセス中に取得されたデータを検査します。</p>
<p>Analyst ソフトウェアデータでは、LIT スキャンにおいて Q3 分解能が最大として報告される。(DS-2220)</p>	<p>Analyst ソフトウェアの Explore モードでデータを開きます。</p>
<p>ループ Scout Triggered MRM (stMRM) アルゴリズム実験のデータが Explorer ワークスペースで開かれている場合、トランジションの強度がゼロ(つまり、真のシグナルまたはトリガーされていない)の場合、依存するトランジションの XIC は空白になります。(ONYX-19875)</p>	<p>依存トランジションのデータは Explorer ワークスペースに表示されませんが、取得されています。これは単なる表示エラーです。</p>
<p>同じ極性で異なる分解能設定の実験を含むループ実験では、サンプル情報でキャリブレーションテーブルに表示される情報は正しくありません。(ONYX-21279)</p>	<p>サンプル情報には、最初の実験の 2 番目の実験のキャリブレーションと解像度の表も示されています。 正しい情報が監査証跡に記録されます。</p>
<p>MRM^{HR} データを含む複数の実験データの場合、MRM^{HR} TIC から開始して個々の実験の TIC を開き、Process All Overlays? オプションを使用して XIC トレースを開くと、オーバーレイされた XIC は正しくありません。(PV-1086)</p>	<p>各 XIC を別のパネルで開き、XIC をオーバーレイします。</p>

レポーターの問題

問題	注意事項
両方の画像要素を含むカスタムテンプレートとクエリを使用して csv レポートを作成した後は、Results Table からレポートを作成できません。(BLT-1507)	問題を回避するには、サポートされているテンプレートの 1 つを使用してください。次のドキュメントを参照: 『ソフトウェアユーザーガイド』。
UV MS Qual Report テンプレートでは、 Peak Review UV タグに対して次のメッセージが表示されます。画像: Peak Review UV が空です。(BLT-3293)	画像はレポートに正しく表示されます。
PDFFactory で生成されたレポートに、メソッド名、サンプル名、サンプル ID、バーコードなどを示す数値が含まれていない(その名前が番号である場合)。(ONYX-2236)	問題を回避するには、PDFFactory オプションではなく、XPS オプションを使用して印刷します。
レポートテンプレートから For Each Sample タグを削除すると、元に戻すことはできません。(RPT-21)	レポートをもう一度作成してください。

MS Tune ワークスペース問題

問題	注意事項
(X500 QTOF システム) 手動チューニング中、 Save Settings をクリックしても最適化されたパラメータ値がファイルに保存されない。(ACQ-2519)	手動チューニング中は、最適化されたパラメータ値が保存されません。問題を回避するには、手動チューニングモードでチューニング手順をすべて完了します。
(ZenoTOF 7600 システム) MS Tune ワークスペースでキャリブレーションが完了してから約 5 分以内に質量分析装置の電源を切ると、キャリブレーション設定は失われ、以前に保存されたキャリブレーション設定が復元されます。(MSCS-2627)	チューニング手順を再度実行してください。

MS FW Updater に関する問題

問題	説明
MS FW Updater ユーティリティが DVD から実行できない。(BLT-597)	質量分析装置のファームウェアを更新するには、FirmwareUpdater フォルダを D:\ドライブにコピーし、その場所からユーティリティを実行します。

ライセンスサーバーの問題

問題	説明
この Flexera Licensing Server が他の製品に使用されている場合、SCIEX ベンダー デーモンは実行できません。(BLT-3318)	この Flexera Licensing Server では、同じサーバー上の異なるインスタンスで同じベンダー デーモンを同時に実行することはできません。この Flexera Licensing Server が SCIEX 以外の他の製品に使用されている場合は、SCIEX ベンダー デーモンと同時に使用ライセンスを既存の Flexera Licensing Server に追加します。

お問い合わせ先

お客様のトレーニング

- 北米: NA.CustomerTraining@sciex.com
- ヨーロッパ: Europe.CustomerTraining@sciex.com
- ヨーロッパおよび北米以外: sciex.com/education

オンライン学習センター

- [SCIEX Now Learning Hub](#)

SCIEX サポート

SCIEX およびその代理店は、十分に訓練を受けた保守/技術専門要員を世界中に配置しています。システムまたは起こり得る技術的問題に関するご質問にお答えします。詳細な情報については、SCIEX web サイト (sciex.com) を参照するか、以下の連絡先までお問い合わせください。

- sciex.com/contact-us
- sciex.com/request-support

サイバーセキュリティ

SCIEX 製品のサイバーセキュリティに関する最新のガイダンスについては、sciex.com/productsecurity を参照してください。

ドキュメント

このバージョンのドキュメントは、以前のすべてのバージョンのドキュメントに優先します。

このドキュメントを電子的に閲覧するには Adobe Acrobat Reader が必要です。最新バージョンをダウンロードするには、<https://get.adobe.com/reader> にアクセスしてください。

ソフトウェア製品のドキュメントについては、ソフトウェアに付属のリリースノートまたはソフトウェアインストールガイドを参照してください。

ハードウェア製品のドキュメントを検索するには、システムまたはコンポーネントのドキュメント DVD を参照してください。

ドキュメントの最新版は SCIEX の web サイト(sciex.com/customer-documents)で入手できます。

注: このドキュメントの無料の印刷版を請求するには、sciex.com/contact-us までお問い合わせください。

本書は SCIEX 機器をご購入され、実際に使用されるお客様にむけてのものです。本書の著作権は保護されています。本書および本書の一部を複製することは、SCIEX が書面で合意した場合を除いて固く禁止されています。

本書に記載されているソフトウェアは、使用許諾契約書に基づいて提供されています。使用許諾契約書で特に許可されている場合を除き、いかなる媒体でもソフトウェアを複製、変更、または配布することは法律で禁止されています。さらに、使用許諾契約書では、ソフトウェアを逆アセンブル、リバースエンジニアリング、または逆コンパイルすることをいかなる目的でも禁止することがあります。正当とする根拠は文書中に規定されているとおりです。

本書の一部は、他の製造業者および/またはその製品を参照することがあります。これらには、その名称を商標として登録しているおよび/またはそれぞれの所有者の商標として機能している部分を含む場合があります。そのような使用は、機器への組み込みのため SCIEX により供給された製造業者の製品を指定することのみを目的としており、その権利および/またはライセンスの使用を含む、または第三者に対しこれらの製造業者名および/または製品名の商標利用を許可するものではありません。

SCIEX の保証は販売またはライセンス供与の時点で提供される明示的保証に限定されており、また SCIEX の唯一かつ独占的な表明、保証および義務とされています。SCIEX は、明示的・黙示的を問わず、制定法若しくは別の法律、または取引の過程または商慣習から生じるかどうかに関わらず、特定の目的のための市場性または適合性の保証を含むがこれらに限定されない、他のいかなる種類の保証も行いません。これらのすべては明示的に放棄されており、購買者による使用またはそれから生じる不測の事態に起因する間接的・派生的損害を含め、一切の責任または偶発債務を負わないものとします。

研究専用。診断手順には使用しないでください。

ここに記載されている商標および / または登録商標は、関連するロゴを含め、米国および / またはその他の特定の国における AB Sciex Pte. Ltd.、またはその該当する所有者の所有物です(sciex.com/trademarks をご覧ください)。

AB Sciex™ はライセンスの下で使用されています。

© 2022 年 DH Tech. Dev. Pte. Ltd.



AB Sciex Pte. Ltd.

B1k33, #04-06 Marsiling Industrial Estate Road 3

Woodlands Central Industrial Estate, Singapore 739256